

application.rb の役割

やまもとじゅん

Version 0.1, 2018/12/17

目次

1. 概要.....	2
1.1. 特徴.....	2
application.rb について.....	2
2. libディレクトリを使うときはconfig.paths.addを使う	3
2.1. eager_load.....	3
3. 参考資料.....	4

すべての環境で共通の設定ファイル

Chapter 1. 概要

Railsでは、config/以下の設定ファイルによって設定を変更できる。

1.1. 特徴

- 「config./パラメータ名 = 値」の形式で設定
- 設定を反映するには、サーバの再起動が必要
- 文字コードは、UTF-8

application.rb について

すべての環境で共通の設定ファイル

Chapter 2. libディレクトリを使うときはconfig.paths.addを使う

NOTE Rails5からproduction環境でのみAutoloadが廃止になった

```
config.autoload_paths += %W( #{Rails.root}/lib )
```

autoloadはされるが **eager_load** はされない

```
config.paths.add "#{Rails.root}/lib", eager_load: true
```

と書くとeager_loadもされる

2.1. eager_load

Railsのapp以下にあるクラス(ModelやController)をブート時に全て読み込む

Chapter 3. 参考資料

Railsアプリを設定する @Rails Guides 設定ファイル(config) @Railsドキュメント Railsでlibディレクトリを使うときはconfig.paths.addを使おう @Qiita